

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年1月17日

学校法人野澤学園 東村山むさしの第一認定こども園

1. 学園の教育目標及び目指す園児像

教育目標：心豊かにたくましく生きる

目指す園児像：◎友達と元気に遊べる子ども ○動植物に親しみをもち、情操豊かな子ども
○心身ともに健康で頑張りぬく子ども ○ものごとを自主的、創造的に考えていく子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◎新学習指導要領に沿った特色ある教育活動の推進し、基本的な生活習慣、遊びを通じた学びの習慣・生活規律の定着、言語能力・体力の向上を目指す。
- ◎情報の配信を行い、保育内容の理解を促進する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	遊びを通じた学びが習得されるようカリキュラムの改善を行う。	B	施設改修工事の影響等で種々の制約や予定の変更がある中でカリキュラムの検討を行い、週の指導計画による習得・活用・探求学習を実施した。
2	言語力の育成を図り、聞くこと、話すことについての基礎・基本が定着できるようにする。	B	読み聞かせを行い、最後まで聞く力の育成や聞いた内容を話す力の育成に力を入れた。
3	健やかでたくましい心と体を育てるために、幼児理解を深める。	B	コロナ禍や体育施設の建て替え工事の影響が少なからずあった中で、園庭遊びや体育活動等を定期的に行った。
4	保護者が園と共に幼児を育てる気持ちを持ち、保護者と連携する。	B	園の教育についての関心や理解を深めてもらえるように、ドキュメンテーションサービスを活用し、情報発信を行った。

評価基準（A：大きな成果があった、B：成果があった、C：あまり成果がなかった、D：成果がなかった）

4. 総合的な評価計画

評価	理由
B	4つの評価項目を設定し、意識的に取り組みを進めたことで、教育の質を向上させ、それを発信していく素地を形成することができた。次年度以降への足掛かりとなる1年にできた。

評価基準（A：大きな成果があった、B：成果があった、C：あまり成果がなかった、D：成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境整備	施設改修工事の影響が子供たちに及ばないよう、工事の情報について法人との連絡を密に行いながら教育活動を進めていく。
2	情報発信	今年度整備したハードウェアや、ソフトウェアをさらに活用し、保護者への情報発信の頻度や内容を充実させていく。
3	安全管理	感染症対策を行いながら、子供たちが充実した園生活を送れるように、状況に応じて感染リスクを見極め、行事の自粛と実施のバランスを考慮する。

6. 学校関係者（保護者）による評価

子供たちは楽しく幼稚園に通っており、学んだ内容を家で話したり表現したりする等、教育内容は充実しているといえる。一方で、行事や体育活動に改修工事やコロナ禍の影響がなかったとは言えず、改善の余地があった。その中で ICT を利用した情報発信が増えたことは非常に有用であり、さらなる活用を期待したい。